

島根県中央部で確認されたベニイトトンボ（トンボ目：イトトンボ科）

皆木宏明*

Record of *Ceriagrion nipponicum* Asahina from Centoral Shimane Prefecture (Odonata : Agrionidae)

Kohmei Minagi

ベニイトトンボ *Ceriagrion nipponicum* Asahina を島根県で確認したので報告する。本種はイトトンボ科に属する中型のイトトンボ（写真1）で腹長が27mm～33mm，全身朱赤色なイトトンボで成虫は5月～10月に出現する。国内では本州東北部から九州までの26都府県で記録され，中国地方では山口県でのみ確認されている。また国外では中国中部にも分布する（杉村ら，1999；山口県，2002）。

本種は止水性のトンボで，特に抽水植物が豊富に茂る自然度の高い池沼やほとんど流れのない溝川を好む（杉村ら，1999）。そのため人為的な影響を受けやすく，生育環境の減少や悪化に伴い全国でも生息地は局所的となっており，日本レッドデータで絶滅危惧Ⅱ類に指定されている（環境省，2006）。

これまで本種は島根県では未記録のトンボであった（大浜，2006）が，2007年7月に島根県西部に位置する益田市内の池で初確認（宮本，未発表）されたのに続き，筆者が同年8月に島根県中央部において2ヶ所目となる本種の分布を確認した。

本種の確認した場所は，島根県邑智郡美郷町君谷にある池（写真2）で，2007年8月18日に岸辺の植物に止まっている1個体（♂）を確認，採集した。池は山を削ってできた人為的な採掘跡にできたものと思われたが，岸辺は植物が茂り，池面には浮葉植物も見受けられた。当日確認したベニイトトンボは採集した1個体のみであり，当池で繁殖しているかは不明である。

この池では同属のキイトトンボ *Ceriagrion melanurum*をはじめ，アジアイトトンボ *Ischnura asiatica*，アオイトトンボ *Lestes sponsa* やネキトンボ *Sympetrum speciosum*，チョウトンボ *Rhyothemis fuliginosa* など抽水植物を好む止水性のトンボも同所的に見られた。

池の周囲は植物が茂り，人が容易に近づけるような道もないため，本種が人為的に運ばれた可能性は低く，自然に飛来したものと推測される。生息する多くの県で絶滅危惧種とされており，全国的に絶滅の危惧される種ではあるが，山口県では近年生息域を広げているとの報告もある（山口県立山口博物館，2006）。これまで記録のなかった島根県でほぼ同時期に距離の離れ

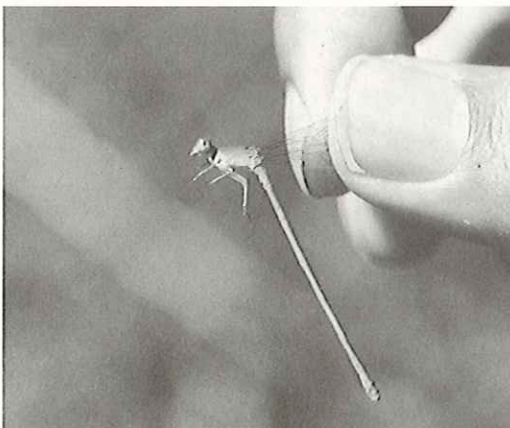


写真1 ベニイトトンボ



写真2 確認した池

* 島根県立三瓶自然館，〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8, Tane, Sanbe-cho, Ohda-shi, Shimane Prefecture

た2地点から記録されたことから、今後新たな生息地が確認されるか興味深い。

なお、採集個体は標本化し三瓶自然館で收藏している。

引用文献

- 環境省野生生物課 (2006) 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物5-レッドデータブック [昆虫類] 248pp.
- 大浜祥治 (2006) 島根県のトンボ類. 新島根の生物. 日本生物教育会島根大会実行委員会. 171-187.
- 杉村光俊・石田昇三・小西圭三・石田勝義・青木典司 (1999) 原色日本トンボ幼虫・成虫大図鑑. 北海道大学図書刊行会 917pp.
- 山口県環境生活部自然保護課 (2002) レッドデータブックやまぐち. 513pp.
- 山口県立山口博物館 (2006) 山口県のトンボ. 52pp.